

本セミナーでは、「世界遺産」を通じたサステイナブル・ツーリズムについて検証し、「遺産化」の過程でどのような価値観、プロセスや利害関係が生じるかについて討論します。

さらに国内外の複数の事例から、世界遺産地域内のステークホルダーと、地域外の関係者との間にある価値観の「ズレ」について分析し、持続可能な観光の理論・実践についても模索したいと考えています。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

2017年 **2月23日(木)**
10:00 ~ 15:00

会場 **和歌山大学
観光学部棟 T101 教室**
(和歌山市栄谷 930)

参加費・参加申込 **不要**

和歌山大学国際観光学研究センター・和歌山大学観光学部 主催

世界遺産の順応的ガバナンスと その守り手としての サステイナブル・ツーリズム

基調講演1 「自然と文化をつなぐ世界遺産条約 ～自然と文化の分断を超えて」

講師 **吉田 正人** 筑波大学大学院人間総合科学研究科世界遺産専攻 専攻長・教授
国際自然保護連合 (IUCN) 世界保護地域委員会委員



千葉大学理学部生物学科卒業後、日本自然保護協会研究員として、世界遺産条約の批准や生物多様性条約の推進に携わる。2004年より江戸川大学、2010年より筑波大学において、自然保護学、自然遺産学を教えている。また、IUCN 世界保護地域委員会委員として、世界自然遺産をはじめとする保護地域のマネジメントやコミュニティとの協働管理を含むガバナンスの問題に関心をもち、世界遺産地域における自然と文化の関係に関する研究を行っている。

基調講演2 「ツールとしての風景： ズレと交渉の地域史からみる順応的ガバナンスの可能性」

講師 **福永 真弓** 東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授



専門は環境社会学と環境倫理。流域と人の交渉史を軸に、順応的ガバナンスの実践について研究しているほか、環境をめぐる倫理と社会規範に関する理論的研究を特に環境正義やジェンダーの観点から行っている。

プログラム等詳細、および本件についてのお問い合わせ先

和歌山大学 国際観光学研究センター

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 経済学部南棟 1階

TEL/FAX: 073-457-7025 / E-mail: info-ctr@center.wakayama-u.ac.jp / HP: <http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>